

初夏号 2024.6-7 VOL.148

大野城まどかぴあ図書館

香りの魅力

湿度が上がり様々な香りを感じやすくなるこの時期。暮らしを彩ってくれる香りの世界にふれてみませんか？

『透明な夜の香り』

千早 茜／著
集英社
【 F 748 】



嗅覚がかなり鋭く天候や人の体調の変化を言い当てることのできる天才調香師の朔と、彼の自宅兼仕事場の古い洋館で家事手伝いのアルバイトをすることになった元書店員の一香。

人の魅力を引き出したり、感情をコントロールできる「香り」の持つ力に圧倒されますが、その一方で、洋館の庭でとれるハーブを使った料理や、朔が作るシャンプーや化粧品などの描写がとても丁寧で全体的に温かい雰囲気があります。一香が朔の声を「紺色の声」と表現しますが、色や音の描写もとても繊細で五感を刺激される物語です。

『絵でわかる』

においと香りの不思議』
長谷川香料株式会社／著
講談社
【 491.3 E 】



「プルースト効果」という言葉を知っていますか？においで過去の記憶や感情が鮮明に想起されることですが、人間の脳の構造上、においと記憶にかかわる部分は密接な関係にあるのだそうです。100年以上続く香料メーカーによって執筆された本書は、においとは何か？から、においを創る調香師についてまで、においと香り全般についてイラスト付きでわかりやすく書かれています。

調香師は芸術的感性や科学の知識をもとに、2000種類以上のおい成分を記憶し、それらを組み立てて香りを創っているそう。こうしてできた香りが私たちの暮らしを豊かに彩っていることがよくわかる一冊です。

『心と体に効くお香のある生活』

椎名 まさえ／監修
日東書院本社
【 792 コ 】

日本における香りといえば「お香」ですが、古代から祈りと共にささげられてきたお香は浄化・邪気払い・魔除けの目的で使われてきました。紫式部の書いた「源氏物語」は香りの物語と言われるほど香りの記述が多い書物ですが、身だしなみの一つとして女性も男性も香りを使っていたことがわかります。

本書では現代の暮らしに合わせたお香の種類や使い方、道具が写真つきで分かりやすく紹介されていてすぐにでも取り入れられそうです。集中力を高めたい時や気分転換したい時、お香を使ってみませんか？



『作家と珈琲』

平凡社編集部／編
平凡社
【 914.6 サ 】

52人のそうそうたる顔ぶれの著者が綴る珈琲の香りを味わうエッセイ集です。「エチオピアのワイルドコーヒー」(石川直樹)では、エチオピアのコーヒーセレモニーが紹介されています。炭火で生の珈琲豆を煎るところから始まり、珈琲の香りが漂う中で1時間程、一連の作業を見ながら至福の一杯が提供されるのを待つ時間は、まさに魅力的な体験。

エチオピアまで行かずとも、大野城市には世界一の焙煎士がいる珈琲店があります。香り高い珈琲を求めて出かけてみてはいかがでしょうか？



読書を助ける便利ツール

図書館では利用者の方に快適な読書を楽しんでもらうための「読書補助具」を準備しています。

NEW



拡大読書器(持ち運び型)

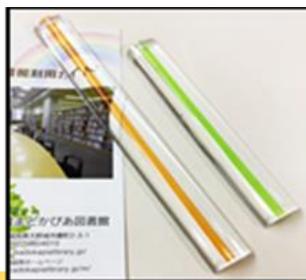
- 館内の閲覧席で利用可能
※持ち運びは職員が行います
- 文字を拡大(最大 19 倍)
- 色調変更可能(黒地に白文字など)



老眼鏡・拡大鏡



リーディングトラッカー



カラーバールーペ



拡大読書器(据え置き型)

☘ 館内で利用できます。ご利用の方は案内カウンターまでお申し出ください。☘



見るだけでも楽しい 館内資料

館内資料は
辞典ではありません。
見るだけでも楽しめる資料を
ご紹介します。

館内のコピー機で、著作権の
範囲内で複写できます！



『神のかたち図鑑』

松村 一男

平藤 喜久子/編著

白水社【R164カ】

人は昔から神々を信じ、神話や絵などに表してきました。本書では世界の神々の図像を天体・自然・動物など 10 のテーマに分け解説。同じ神でも国や時代によって異なる表現になっていることがわかり、人間の想像力の豊かさを感じられます。全ページカラーで図像を見るだけでも楽しい一冊です。

『筑紫・太宰府の昭和』

樹林舎

【CC 219.1 チ】

ビルの解体後、そこに何があったか思い出せない、という経験はありませんか？本書は日々移り変わる街の姿を写真で残した一冊です。春日原等の周辺地域を、昭和と平成の写真を比較して紹介しています。西鉄高架工事の影響もあり、今の姿と比べて大きく変化していることが分かります。

※2点所蔵あり。貸出できるものもあります。

職員の
つぶやき

月に二度、図書館の前で野菜などが販売されているのをご存じですか？夏になると、その日の朝に収穫したトウモロコシが並ぶことがあるのですが驚くほどの甘さ。一度食べて以来、毎年この時期を楽しみにしています。図書館にご来館の時にはこちらもぜひチェックしてみてください。(K)



8/10(土) 真夏のスペシャルおはなし会

楽しい夏の思い出に、ぜひご家族おそろいでどうぞ！

【時間】各回5分前開場

- ①10:15~10:35 赤ちゃん向けおはなし会
- ②10:50~11:20 幼児~小学生向けおはなし会
- ③11:35~11:55 ひみつのブックトーク

【会場】和会議室(2階)

【定員】各回20名(保護者含む)

【対象】①赤ちゃん

②幼児~小学生

③小学4~6年生

当日
先着順

7/27(土) 夜ばなし

暑い夏の夜、ちょっぴりこわいおはなしを聞いて涼しくなりませんか？

【時間】19:00~20:00/18:45開場

【会場】303会議室(3階)

【定員】80名(保護者含む)

【対象】小学生以上(未就学児は入場できません)

※小学生は保護者同伴または会場までの送迎をお願いします。

当日
先着順

8/18(日) 第44回 親子読書会 「親子で心ゆくかな時間を過ごそう」

親子で一緒に楽しめるおはなし会や工作などをします♪

【時間】①10:00~12:00

②13:00~15:00

【会場】303会議室(3階)

【内容】作ってあそぼう！

①さかなつり

②いろいろおりがみ

③毛糸で作るポンポンキーホルダー

※子どもだけの参加はできません。

申込不要

8/3(土) 紙のどうぶつえん

ダンボールで好きな動物をつくってみよう！

【時間】①10:00~12:00

②13:30~15:30

【会場】多目的ホール

【定員】各回20組

【対象】5歳以上(小学1年生以下は要保護者同伴)

【申込】7/10(水)10:00より受付開始

要申込

図書館カレンダー

■ 休館日

6月 June

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	④	⑤	6	7	⑧
9	10	⑪	12	13	14	⑮
16	17	⑮	⑲	20	21	⑳
23	24	⑳	26	27	28	㉑
30						

7月 July

日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	4	5	6	⑦
7	8	⑨	10	11	12	⑬
14	15	⑮	⑰	18	19	⑳
21	22	⑳	24	25	26	㉑
28	29	⑳	31			

27日
ひらめきデー

としよかんのおはなし会

※詳しくはHP・館内チラシをご確認ください

おひざでだっこ 毎週火曜日

10:30~10:45

◇ ぴよぴよのへや(0歳児向け)

◇ よちよちのへや(1・2歳児向け)

わくわくおはなし会 毎週土曜日

①10:30~11:00 ②11:15~11:45
幼児~小学生向け

ひらめきデー

①10:30~11:00 ②11:30~12:00

★ 夜ばなし 19:00~20:00

おすすめの本

『ポケット製本図鑑』

『デザインのひきだし』編集部／編
グラフィック社
【 022.8 ホ 】

本を読んでいる時、本の開き方が気になったことはありませんか。それは本によって作りが全く違うからです。表紙が本体より一回り大きく、硬くて立派で長期保存に向いている「上製本」や、表紙が厚紙1枚で、本体と同じサイズの「並製本」など、日本でできる製本の種類はなんと91種類もあります。本書ではそれぞれの特徴や実際にどういう本に使われているかを紹介しています。製本にかかるコストや時間の目安、手がけている製本会社も書かれているので、これから本を作ろうという人にオススメです。また、普段から本を読む時にどのように作られているのか注目してみると、読書の楽しみが増えること間違いありません！(H)

『深掘り誕生石』

奥山 康子／著
築地書館
【 459.7 オ 】

2021年、日本の誕生石が63年ぶりに改定され、新たに10種類の宝石が加えられました。鉱物等の研究員である著者は、宝石を「鉱物界のエリートたち」と呼び、科学的に紹介しています。4月の誕生石は有名なダイヤモンドですが、今回新たに4月の誕生石に追加された淡い桜色の石、モルガナイト。同じ種類の鉱物にはアクアマリンやエメラルドといった有名な宝石もあります。そんなモルガナイトは20世紀になってから発見された新しい石です。春らしい柔らかなピンク色はまさに4月にピッタリ。その色の秘密はマンガンという金属元素。それを含むことで美しい色合いになるのだそうです。奥深い石の世界、科学的な視点から深掘りしてみませんか。(F)

『人生相談。』

真梨 幸子／著
講談社
【 F マリ 】

新聞の人生相談コーナーには、「ずっと居座り続ける居候に困っている」「隣人との騒音問題」など些細な日常の悩みが寄せられていた。全く関連がないように見えていた一つひとつの相談が次々と連鎖していき、次第に殺人事件へと発展していきます。

間違った記憶や自分勝手な思い込みから起こる出来事に、人の内面の怖さを偶然見てしまったような不気味さを感じます。この登場人物どこかに出ているような…と前のページに戻って確認したくなるほど話が複雑に絡み合っていて、驚きのラストをぜひ味わって欲しい一冊です。(I)

雨の日が多くなるこの季節、本の水めれには十分ご注意ください。本はビニール袋に入れて持ち運ぶ等のご協力をお願いいたします。



みなさまの作品（イラスト、エッセイ、詩）、書評やパララへの要望など、お寄せください。郵送または館内のご意見箱へどうぞ。
(作品返却、掲載予定のお返事はできません)

みよは
見ゆるは夜半の
よは
うつつるか
と
ほたる
蛍なりけり
さほみつ
そら
沢水に空なる星の
ほし

新日本古典文学大系 8 号より

藤原良経朝臣



つどい・ふれあい・はばたく

大野城まどかぴあ図書館

公益財団法人大野城まどかぴあ
816-0934 福岡県大野城市曙町2丁目3番1号
TEL 092-586-4010
<http://www.madokapialibrary.jp/>



▲図書館 HP



Instagram 始めました！«[onojo_madokapia_library](https://www.instagram.com/onojo_madokapia_library)»で検索！